

地域包括支援センターとは、高齢者の方々が、いつまでも住み慣れた地域で安心して暮らすことができるように、介護、福祉、健康、医療などさまざまな面から支援する総合相談窓口です。

介護サービス 利用事例紹介 《Aさんの場合》



市内在住 Aさん
(83歳女性)

5年前に夫が他界、
独居。市外に息子
家族がいる。

広報うしく6月1日号～12月1日号(隔月)にかけて、介護保険制度の申請から利用できるサービスのご案内をしてきました。今回は、継続して介護サービスを利用している事例をご紹介します。

【きっかけ】
転倒で骨折
要支援1に

自宅で転倒、大腿骨骨折で1カ月の入院。息子が介護保険を申請し、入院中に要支援1の認定を受けた。病院相談員から地域包括支援センターに連絡が入り、担当ケアマネジャーを決め、介護保険サービス利用について相談。退院後に住宅改修で浴室、トイレなどに手すりを設置した。また半日型の運動型デイサービスに週1回通い、リハビリに取り組んだ。

【5年後】
生活への支障が増え
要介護1に

生活への支障が増え、認定更新時に要介護1の認定。担当ケアマネジャーと相談し、通所先を1日型のデイサービス・週3回に変更した。外出時に使用する歩行器のレンタルも始め、買い物支援のために週1回、ヘルパーに来てもらうことになった。

デイサービスで
入浴もリハビリも
できるし、まだ独居で
大丈夫そう…



【7年後】
状態が変わり
要介護2に

身体状況が少しずつ変わり、要介護2の認定。体調管理のために訪問看護を週1回利用するようになった。担当ケアマネジャーとは、将来的なことも相談している。もっと身体の状態が悪くなり要介護3以上になったら、自宅での生活は難しいだろうから、特別養護老人ホームに入りたいと希望している。

生活の変化に
応じてケアマネ
ジャーに相談できる
から安心



ご相談は
こちら

牛久市地域包括支援センター

☎878-5050 FAX 871-0540

牛久市中央3-15-1市役所分庁舎内 牛久市社会福祉協議会

牛久市地域包括支援センター^{はくじえん}博慈園

☎871-5110 FAX 871-0606

牛久市女化町253-2 社会福祉法人博慈会



みんなの農業

問 農業政策課 ☎内線1511

牛久管内のブースにも、「牛久へ移住して大根を作ってみたい」「牛久に住んでいるので、市内の農業法人に勤めてみたい」など、市内就農希望者が訪れ、施設の見学や農業体験の予約を

当日は、茨城県内外から約50人の就農希望者が来場し、各ブースにて具体的な研修内容や研修期間などを熱心に相談されていました。

市では、牛久の農業の未来を担う新規就農者の育成を推進しています。昨年12月16日、つくば国際会議場にて開催された「新・農業人フェア」に、牛久市やJA水郷つくば大根生産部会、市内農業法人が出展し、新しく農業を始めた方々の相談会に参加しました。

集まれ、未来の農業者!

される方もいらっしゃるかもしれません。

市でも、牛久の大切な農地を守っていく担い手が一人でも増えていくよう、独立就農や、農業研修、農地の確保など、農業を始めてみたい方の相談窓口を開設しています。ご興味のある方は、農業政策課までお気軽にお問い合わせください。

